

定期昇給停止Q & A (1)

ルネサス懇

＜発行者＞
ルネサス関連
労働者懇談会
(ルネサス懇)
意見と情報は、
〒142-0043
東京都品川区二葉
2-20-8 染野ビル
(電機労働者
懇談会気付)
(03) 6421-5323

電機・情報ユニオンへの相談は、



先日ルネサス懇が実施したアンケート結果によると、定期昇給延期については会社からいまだに納得の行く説明がないというのが多数派です。そこで、多くの社員が疑問を持ちそうな点について、Q & Aを作成することにします。

**2030 ASPIRATIONは、
私たち社員にとってどんな意味があるでしょうか**

とても基本的な疑問です。この中期目標において、もっとも達成の難しいのが株価時価総額6倍化と言われています。ではその前提となる「株が上がる」ことが、社員にとってどんな意味があるのか考えてみましょう。

2012年にルネサスが産業革新機構(INCJ)等から1500億円の出資を受けたとき、発行株式は1株120円でした。(うちINCJが1383.5億円を出資。)INCJはその後、段階的にルネサス株を売却しましたが、その時点の株価は最大で20倍近くとなり、売却収入は元の出資額の10倍を超える1.4兆円超となりました。しかもこのうち2千億円は、

ルネサス自身による買い戻しによるものです。つまり私たちは、INCJから出資してもらった額よりも、ずっと多くのお金を返しているのです。

また、経営が安定していれば、古い株主から新しい株主に株が渡る過程で株価は上がっていきますが、私達がお金の一部を手にする訳ではありません。むしろ株価を上げるために、昨年末には配当金を498億円も出しています。このように、株価を上げて行く過程と言うのは、実は私達を圧迫する過程でもあり、高い目標を立てられるほど、その負担は増すこととなります。莫大な株式報酬を得ている役員や、ストックオプションの権利を与えられている部長級以上でなければ、重い負担に見合うだけの直接的な恩恵はないと考えて良いと思います。

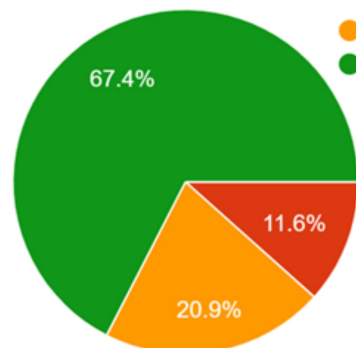
2030 ASPIRATIONが達成できなければ、会社が存続できず、私たち全員が行き場を無くすかのような極論が出てくるとしたら、まさにここに理由があるのではないのでしょうか。デメリットが多いからこそ、もっと悪いことになる脅すしか無くなるからです。そもそも本当に脅しが目的であれば、印象操作に邪魔な具体的な数字は決して出てこないでしょう。

それなら私たちは、この施策に協力することと引き換えに、もっと私たちの取り分を要求して然るべきです。

【設問11】定期昇給延期の会社説明をどう思いましたか

43件の回答

- ①十分に納得の行く説明だった
- ②理解はしたが、説明がやや不足している
- ③説明が不十分である
- ④まったく理解できない



電機・情報ユニオン

困ったら、一人で入れる
電機・情報ユニオンに相談を

連絡先

TEL 03-6421-5323

FAX 03-6421-5324

メール: <denkiunion@gmail.com>

